



2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月22日

バンドー化学株式会社

I . 会社概要

II . 2017年3月期 第2四半期 決算概要

III . 2017年3月期 業績予想

IV . 中期経営計画

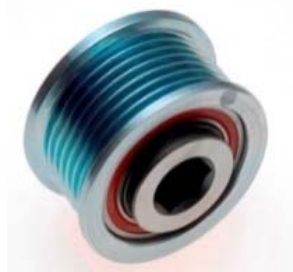
Breakthroughs for the future について

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2016年9月30日現在)

自動車部品事業



●自動車用補機駆動ベルト

●オートテンショナ

産業資材事業



●産業機械用駆動ベルト

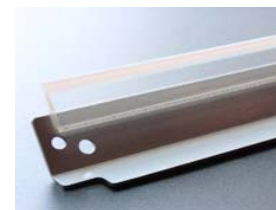


●農機用駆動ベルト

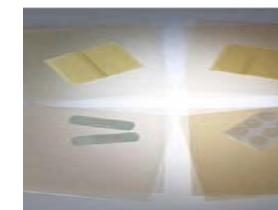


●コンベヤベルト

高機能エラストマー製品事業



●精密機能部品製品
(左:クリーニングブレード 右:高機能ローラ)



●機能フィルム製品

Ⅱ. 2017年3月期 第2四半期 決算概要

■ 2017年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(百万円)

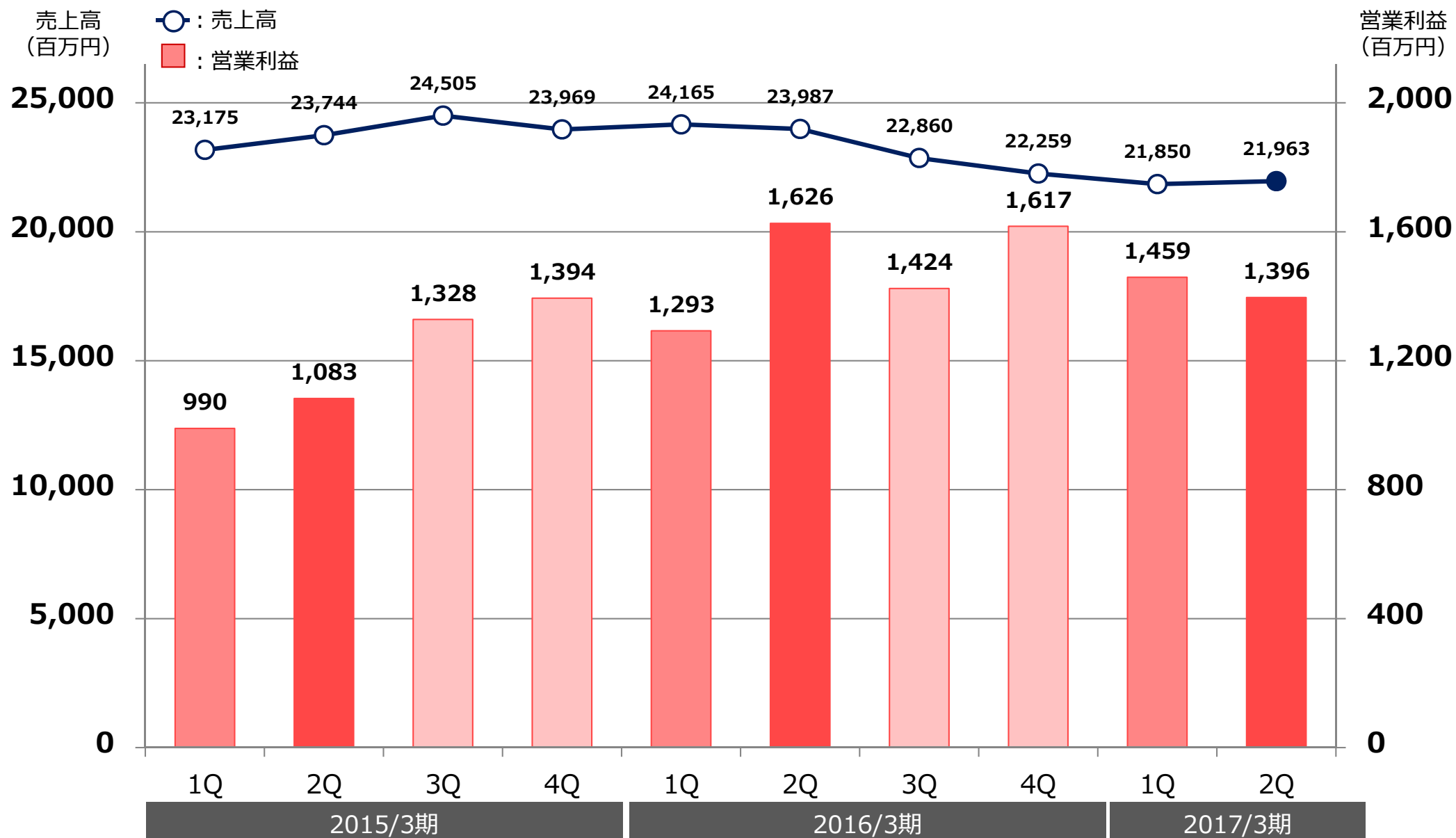
	2015/9 実績	2016/9			
		実績	前年同期比	事前予想	事前予想比
売上高	48,152	43,813	△4,339	47,000	△3,186
営業利益	2,919	2,855	△63	3,000	△144
経常利益	3,491	2,762	△728	3,200	△437
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,592	2,095	△497	2,300	△204
営業利益率	6.1%	6.5%	+0.5%	6.4%	+0.1%

- 売上高は前年同期比で、主として円高により減収(△4,339百万円)。
- 営業利益は微減(△63百万円)に留まったものの、円高により営業外損益が悪化し、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益(△497百万円)。

■ 2017年3月期 第2四半期 決算ハイライト

- 自動車部品事業において、国内では自動車生産台数が前年度を下回った影響により販売が減少した。海外では、中国、タイでの自動車用部品およびタイ、インドおよびベトナムでの二輪車用部品の販売が増加した。全体では現地通貨ベースで売上高を伸長させたが、円高の影響により減収となった。
- 産業資材事業において、一般産業用伝動ベルト製品分野では中国、タイでの農業機械用伝動ベルトの販売が増加したが、国内での設備投資需要の低迷の影響で販売が減少し、全体で販売が減少した。運搬ベルト分野では日本、中国およびアセアン地域での軽搬送ベルトの販売が増加したが、鉄鋼用および資源開発用のコンベヤベルトの販売が減少した。
- 高機能エラストマー製品事業において、精密機能部品では国内外OA機器メーカーの減産の影響により販売が減少した。機能フィルム製品では国内での非住宅関連の需要増や積極的な営業活動により販売が増加した。
- 営業利益において、原価低減活動の徹底や海外生産拠点の採算改善推進および収益性を重視した受注を行ったが、円高の影響を受け減益となった。

■ 四半期推移(売上高/営業利益)

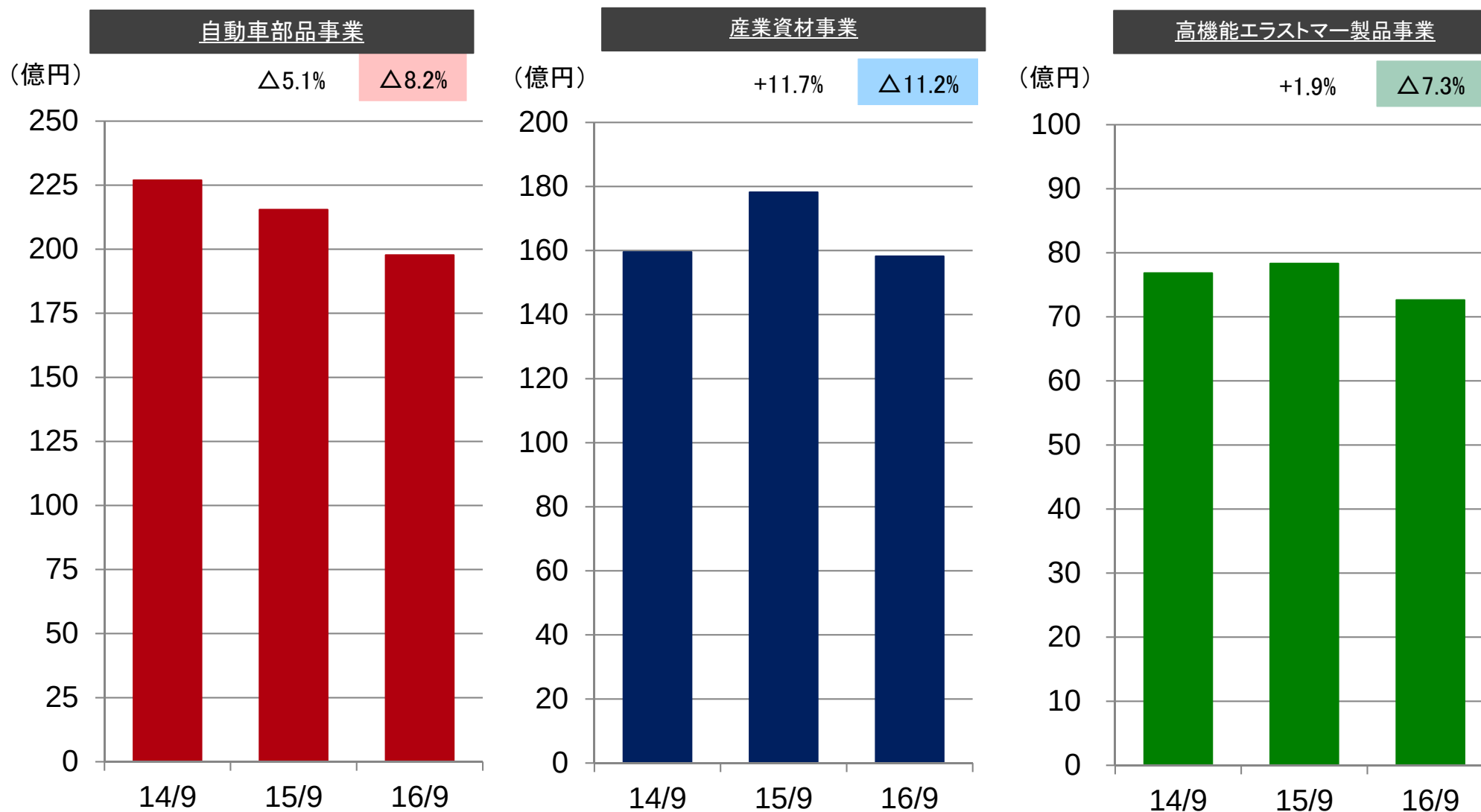


2017年3月期 第2四半期 セグメントの状況

(百万円)

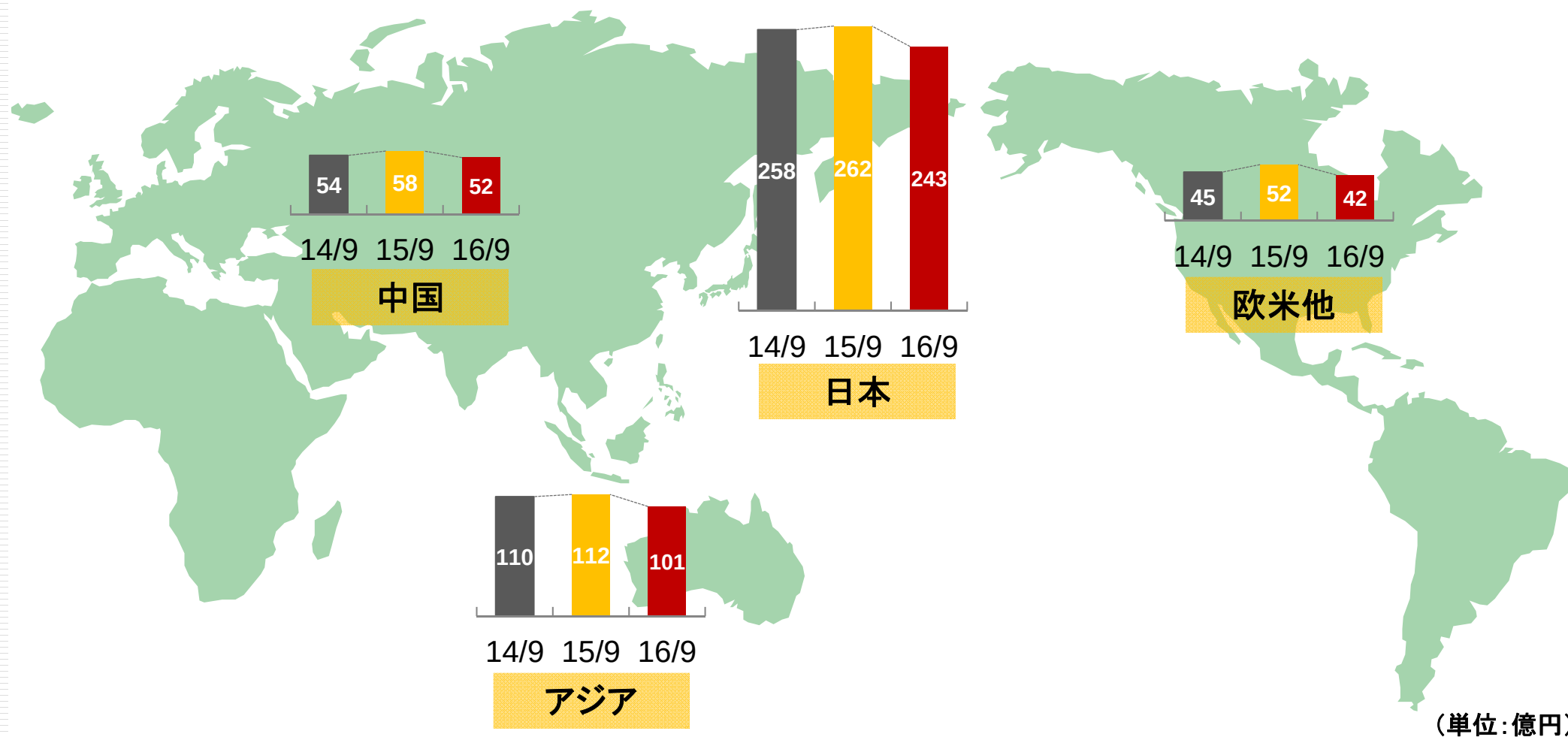
	2015年2Q 実績	2016年2Q		
		実績	前年同期比増減額	前年同期比増減割合
売上高	48,152	43,813	△4,339	△9.0%
自動車部品事業	21,593	19,811	△1,782	△8.3%
産業資材事業	17,852	15,866	△1,985	△11.1%
高機能エラストマー製品事業	7,861	7,315	△545	△6.9%
その他	1,335	1,168	△167	△12.5%
セグメント間消去	△490	△349	+141	—
営業利益	2,919	2,855	△63	△2.2%
自動車部品事業	1,551	1,264	△286	△18.5%
産業資材事業	1,106	1,206	+99	+9.0%
高機能エラストマー製品事業	330	116	△213	△64.6%
その他	157	188	+30	+19.6%
セグメント間消去	△225	79	+305	—

■ セグメント別 売上高推移



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

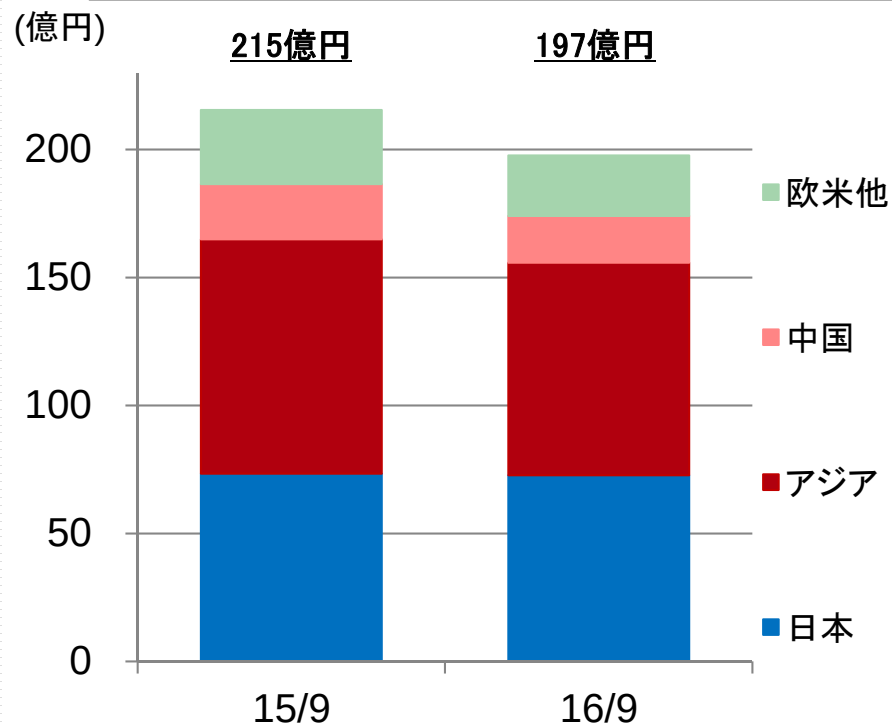
■ グローバル市場展開：所在地別売上高



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(△18.1%)

- 米国と欧州では、引き続き自動車生産台数が増加したが、米国において収益性を重視した受注活動により補機駆動用伝動ベルト製品の販売が減少。
- 補修品の販売は堅調に推移。

中国
(△15.4%)

- 小型車減税措置の効果継続による自動車生産台数増加により、補機駆動用伝動ベルト製品の販売が増加したが、円高の影響により減少。

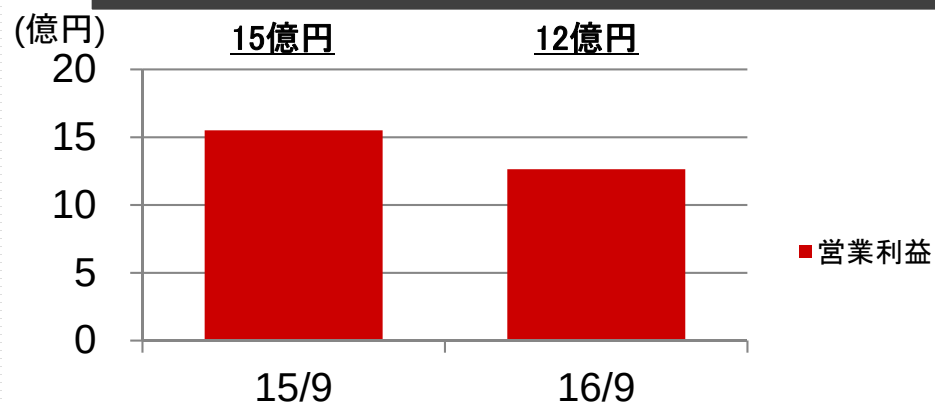
アジア
(△9.3%)

- インド、ベトナム、タイにおいて、スクーター用変速ベルトが好調を維持し、販売が増加。またタイの自動車生産台数も堅調に推移し、全体で販売が増加したが、円高の影響により減少。

日本
(△0.8%)

- 軽自動車の販売不振や熊本地震の影響など主要顧客の生産台数が減少したが、補修品販売の拡販活動が奏功し、全体では横ばいで推移。

営業利益

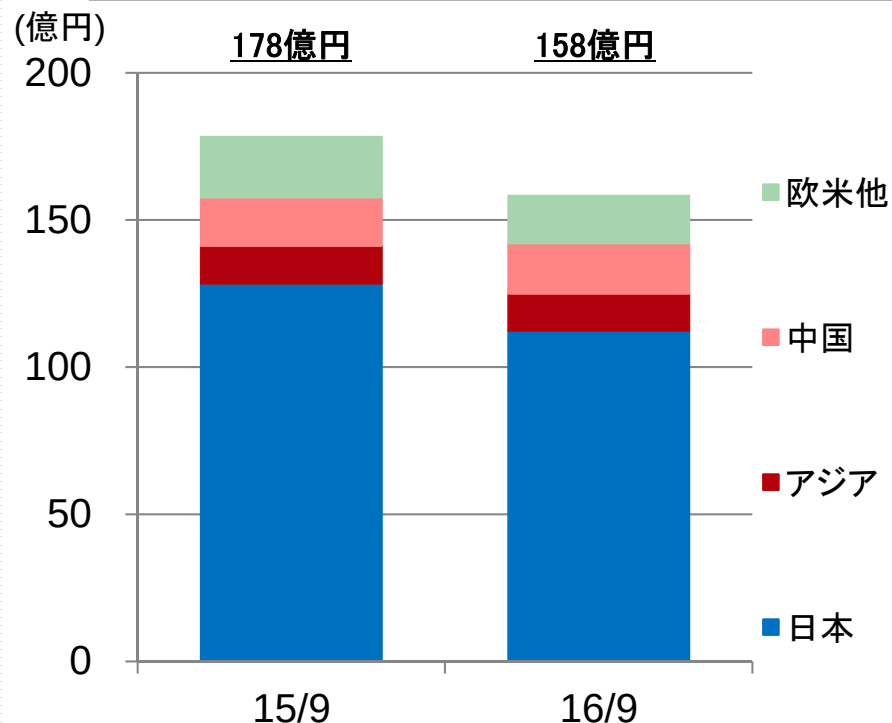


営業利益
(△18.5%)

- アジアおよび中国における販売の増加により、現地通貨での利益が増加したが、円高の影響により減少。
- 欧米では販売の減少により、利益が減少。

産業資材事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(△21.3%)

- 米国の景気回復により、産業機械用伝動ベルトの販売が堅調に推移したが、南米向けなどの販売が減少。

中国
(+3.9%)

- 政府支援策の影響や拡販活動が奏功し、農業機械用伝動ベルトおよび軽搬送ベルトなどの販売が増加。

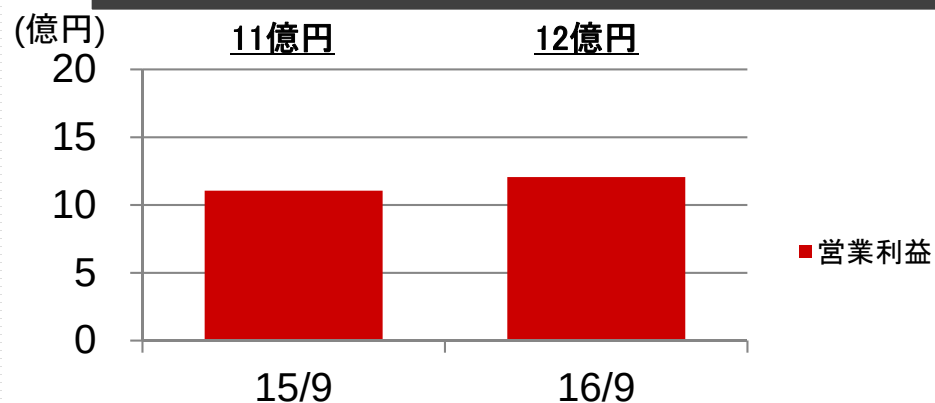
アジア
(△1.9%)

- タイ、ベトナム、インドにおいて、顧客開拓を進めたことにより、産業機械用および農業機械用伝動ベルトの販売が増加。また、タイ、ベトナム、マレーシアにおいて、軽搬送ベルトが増加したが、全体では円高の影響により減少。

日本
(△12.5%)

- 収益性を重視した受注により、コンベヤベルトの販売が減少。
- 設備投資需要が低下している影響を受け、一般産業用製品の販売が減少。

営業利益

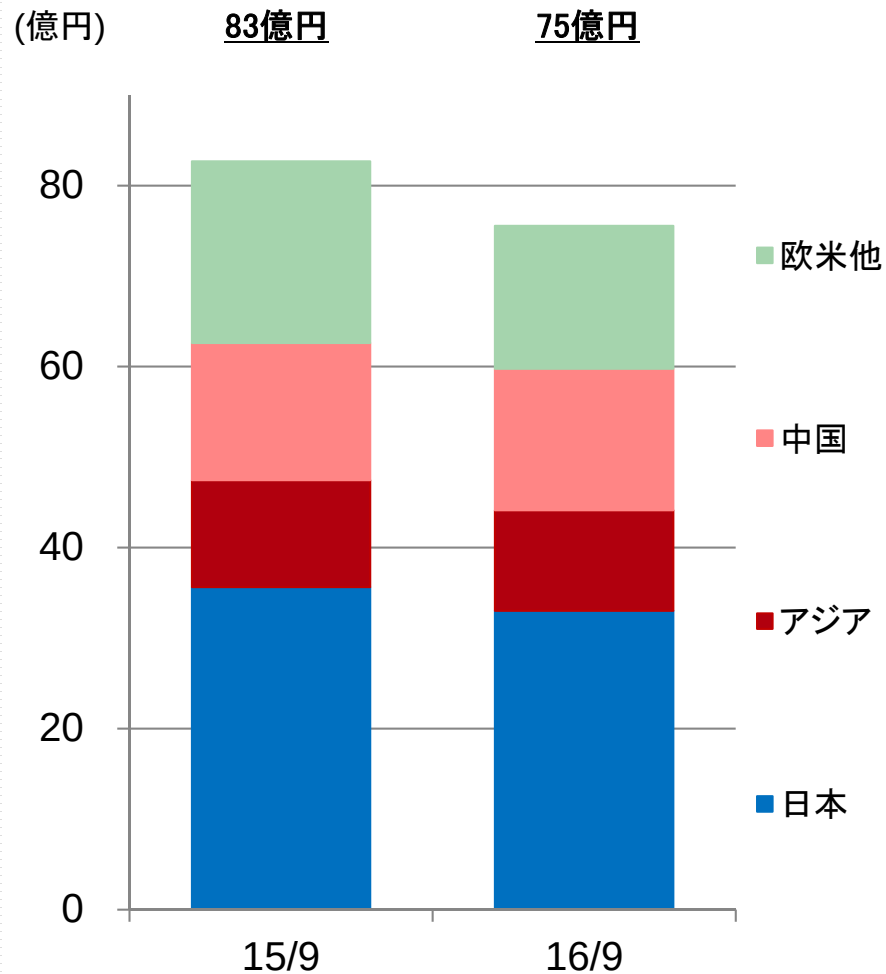


営業利益
(+9.0%)

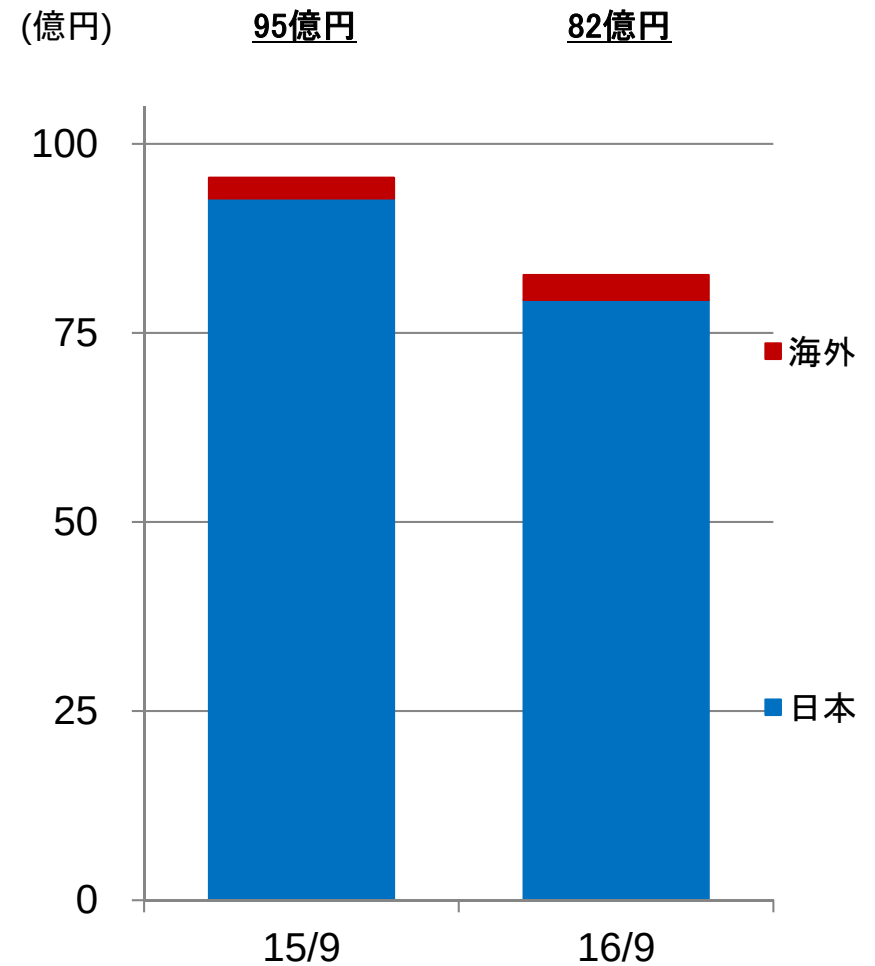
- 収益性を重視したコンベヤベルトの受注や、中国、アジアにおける軽搬送ベルトの拡販などにより増加。
- タイ、ベトナムにおいて、産業機械用および農業機械用伝動ベルトの販売増加により、利益が増加。

■ (参考)産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品、運搬ベルト)

一般産業用伝動ベルト製品 所在地別売上高

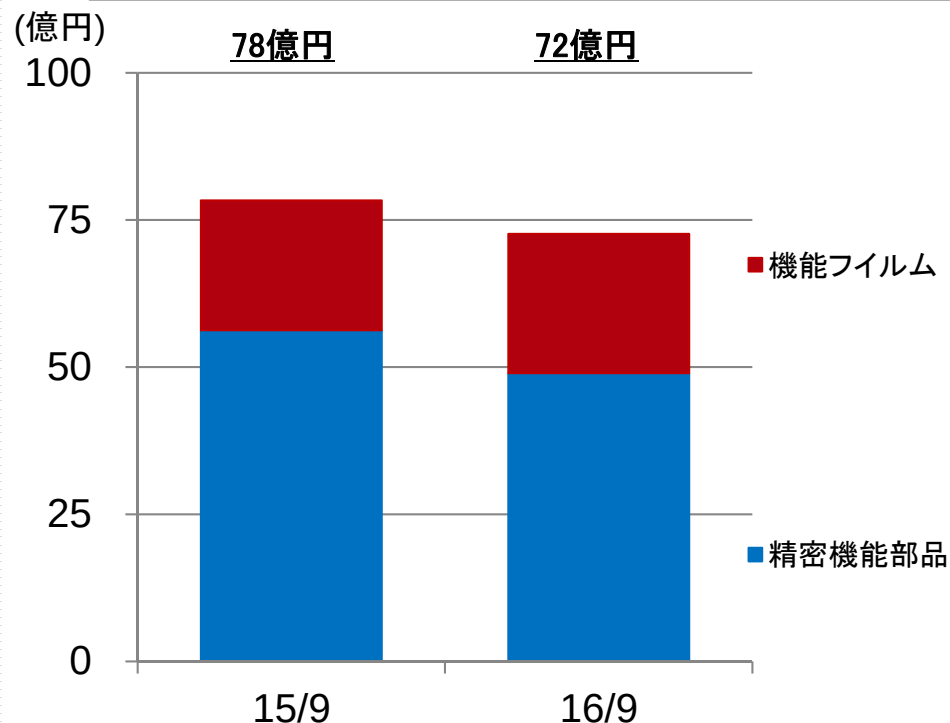


運搬ベルト 所在地別売上高



■ 高機能エラストマー製品事業 概要

事業別売上高



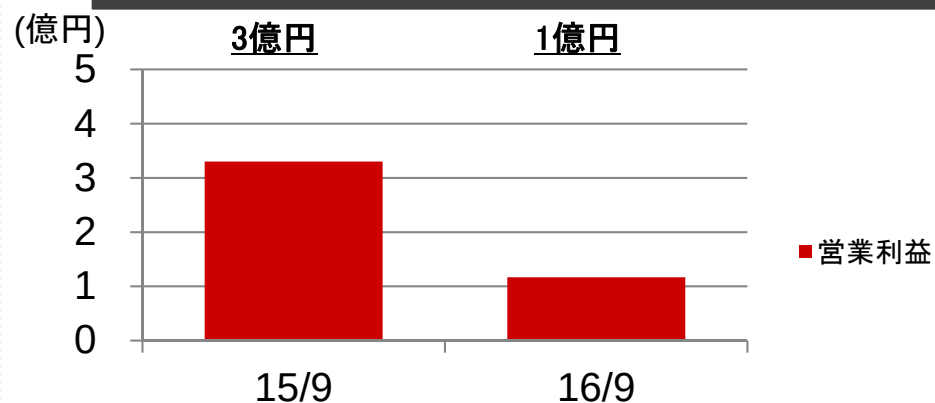
機能
フィルム
(+7.2%)

- 国内の非住宅建材需要は引き続き堅調に推移しており、建築資材用および工業資材用の販売が増加。
- 医療関連用は拡販が奏功し、販売が増加。

精密機能
部品
(△13.0%)

- 当社主要顧客である国内外のOA機器メーカーの減産の影響により、高機能ローラ、クリーニングブレードおよび精密ベルトなどの販売が減少。

営業利益

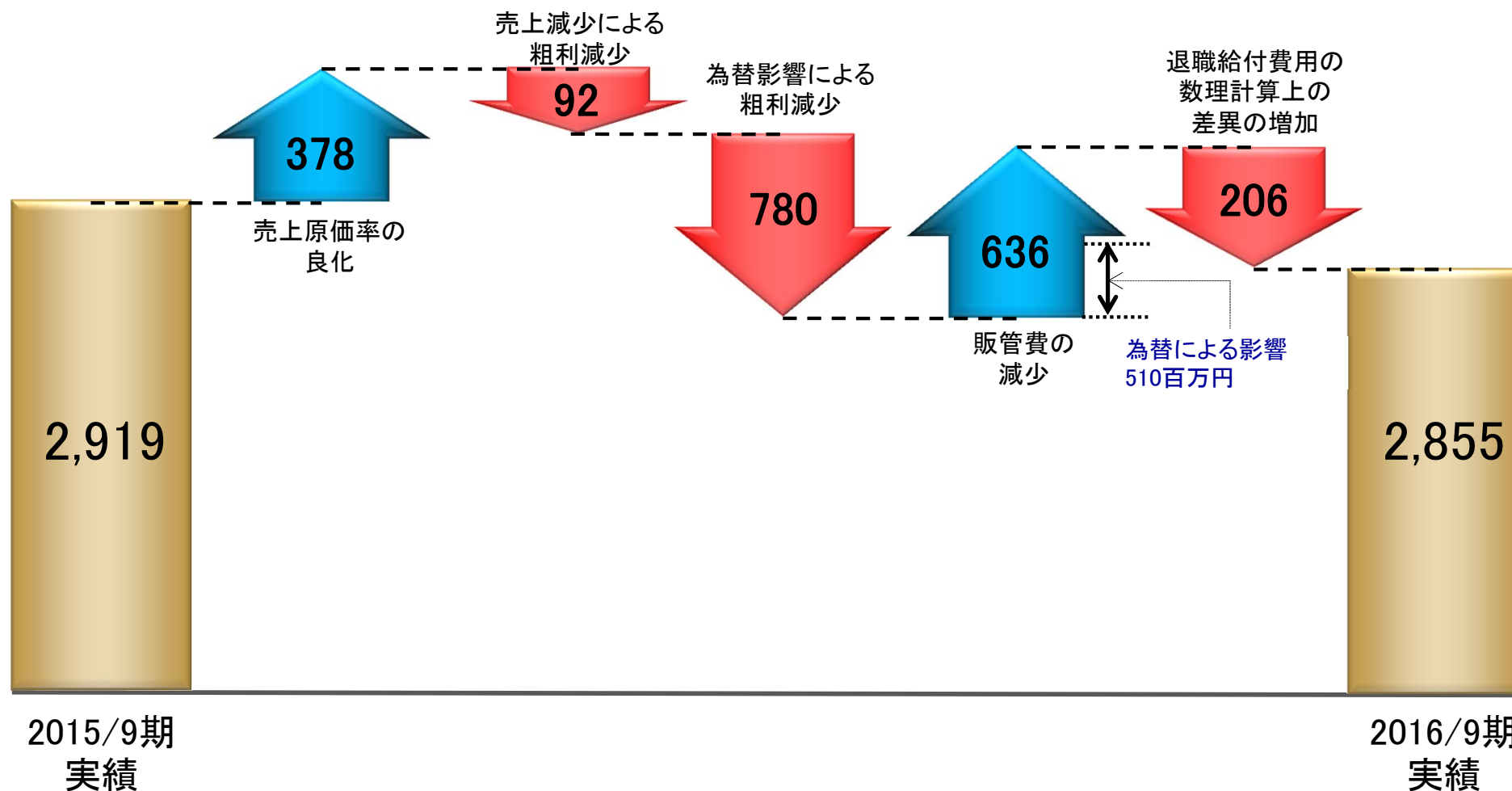


営業利益
(△64.6%)

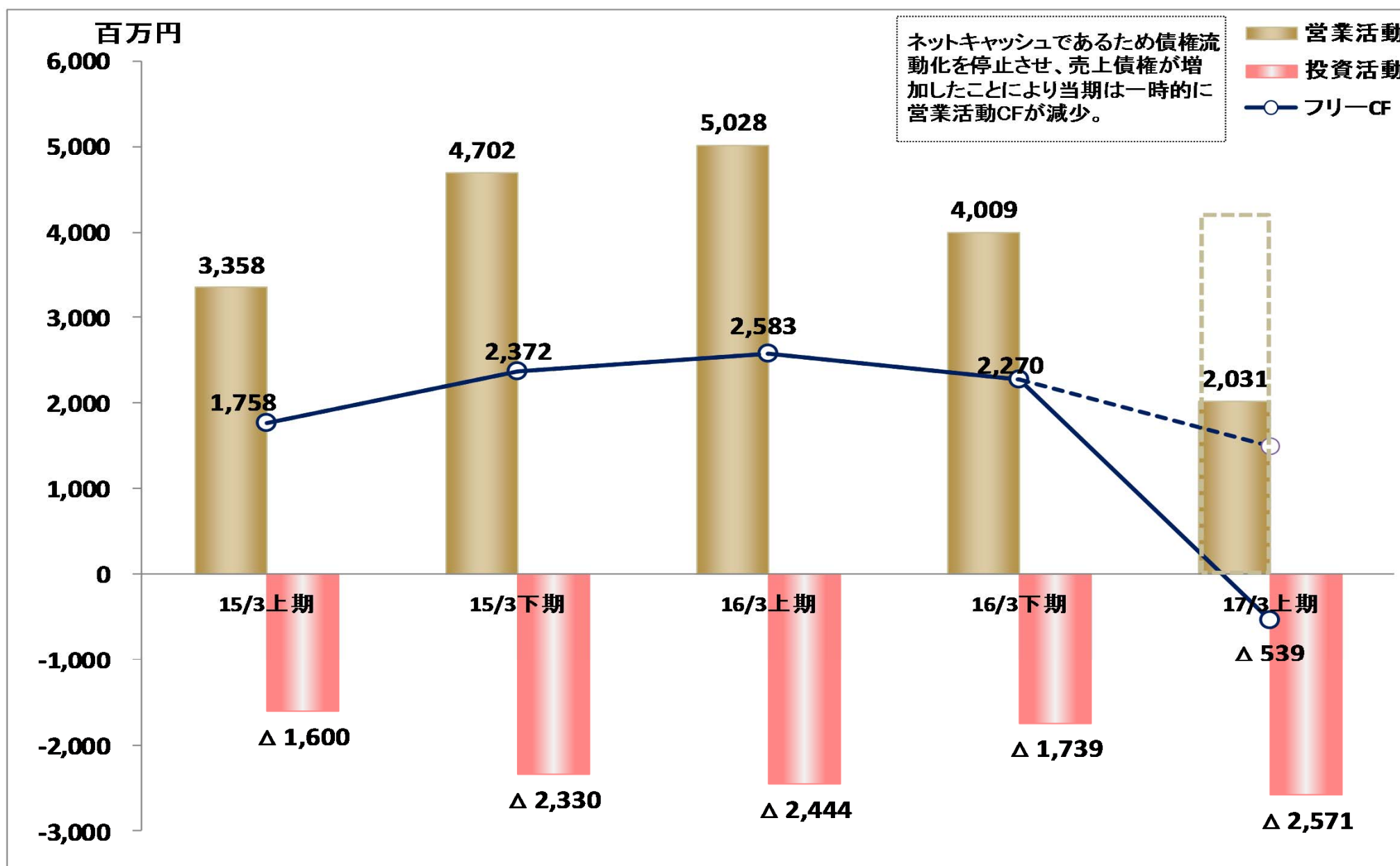
- 機能フィルムは、販売の増加により利益が増加。
- 精密機能部品は、販売の減少より利益が減少。

2017年3月期 第2四半期 連結営業利益 増減分析

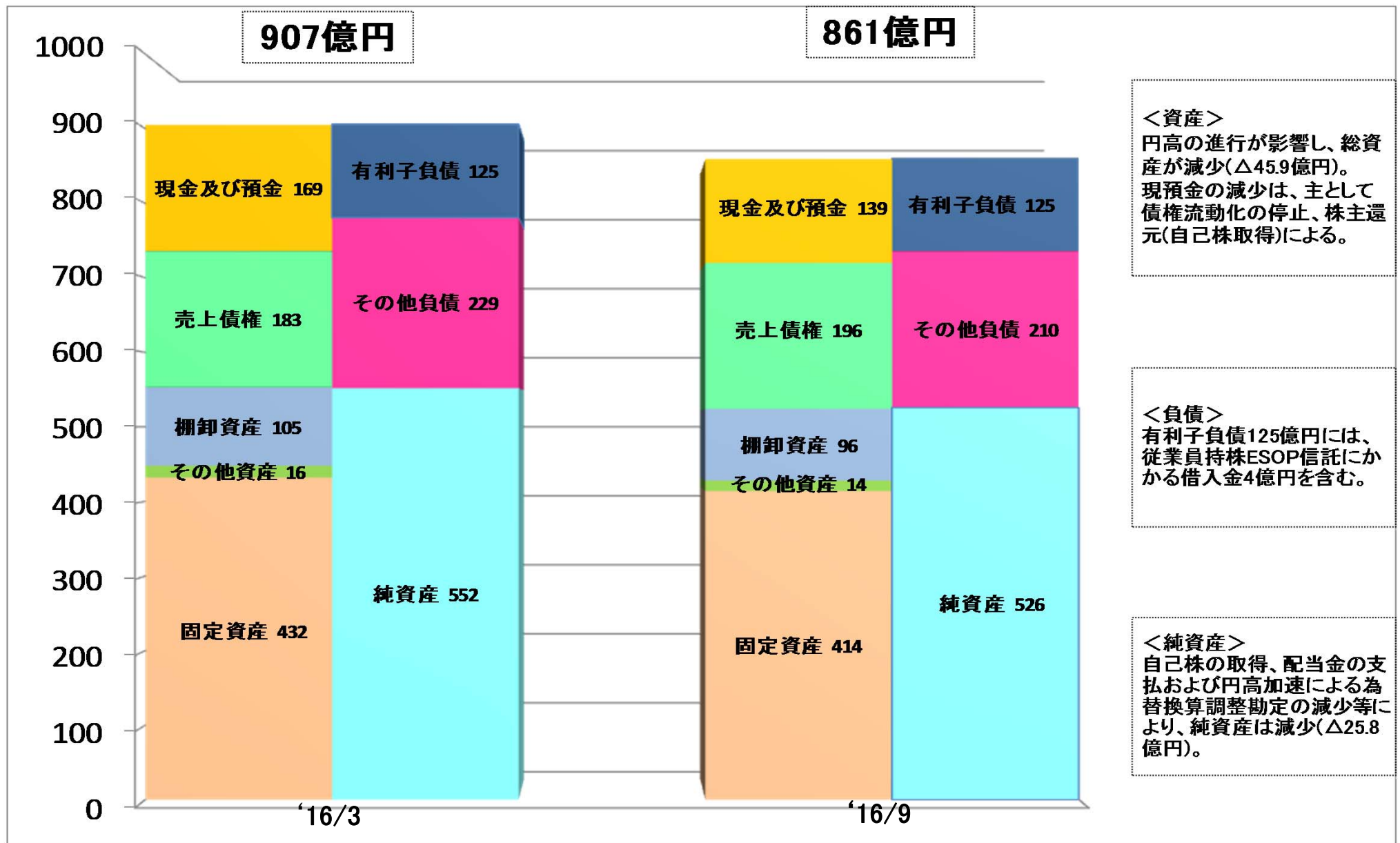
(単位: 百万円)



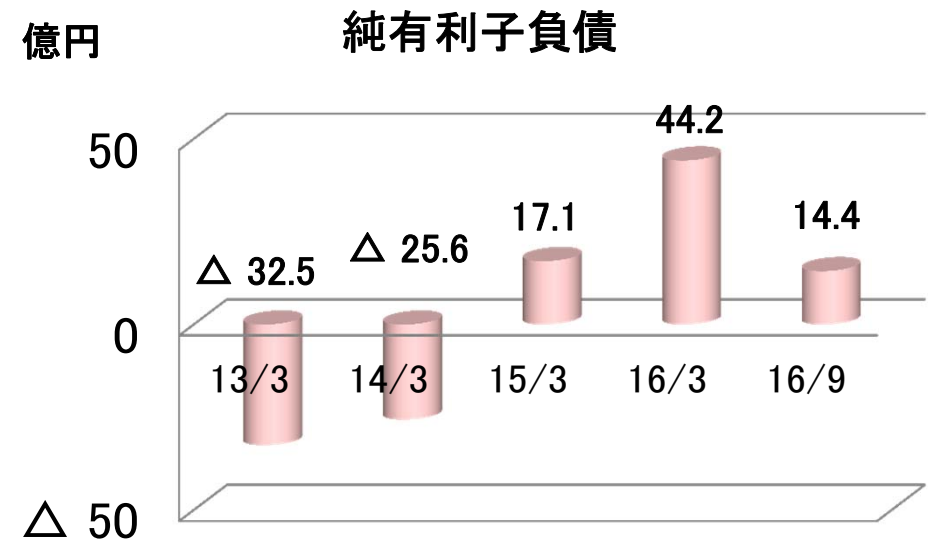
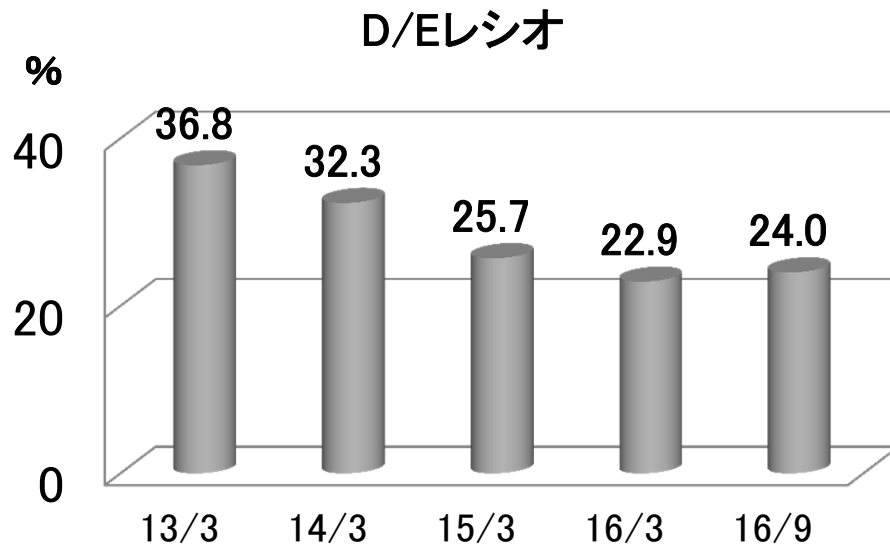
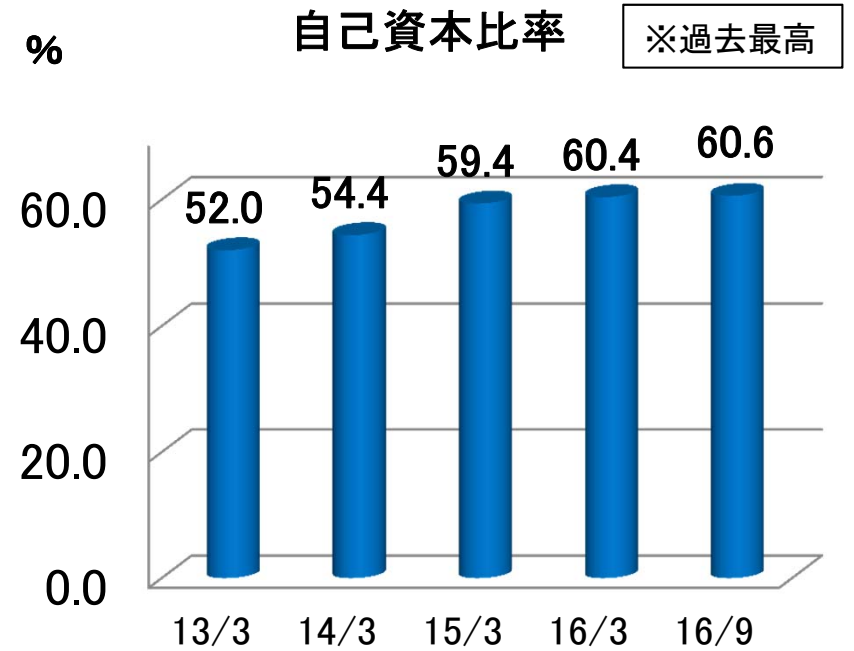
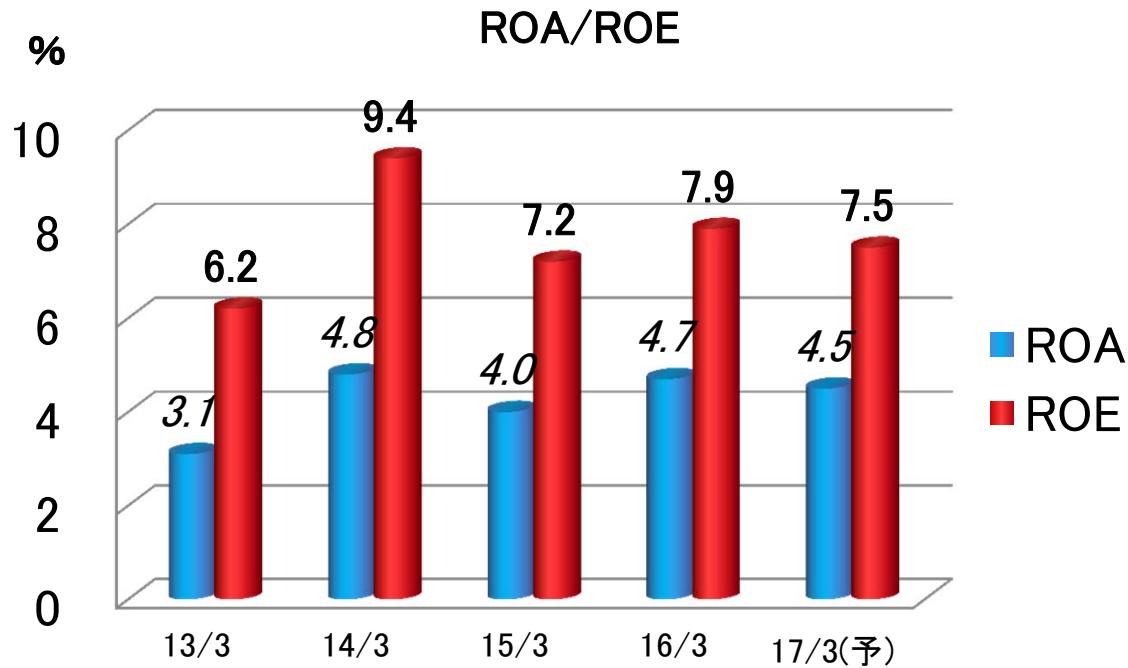
■ キャッシュフローの推移



■ 連結貸借対照表



財務指標



主なトピックス

4月 ・「第1 回 M-Tech NAGOYA」に出展(ポートメッセなごや)

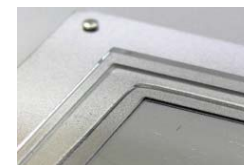


固縛ベルト用張力計
(M-Tech NAGOYA 出品)



欧州委員会規則に適合した
「サンライン®ベルト」
(FOOMAJAPAN2016 出品)

6月 ・「FOOMA JAPAN2016」に出展(東京ビッグサイト)
・光学用透明粘着剤シート「Free Crystal®」を開発
・「第20回 M-Tech」に出展(東京ビッグサイト)



光学用透明粘着剤シート
「Free Crystal®」

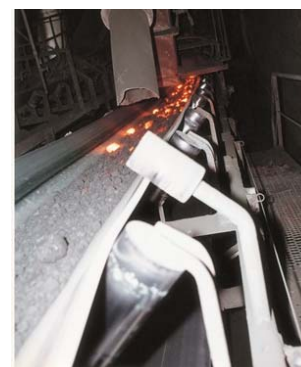


バンドーワイパーエッジ®EX
(M-Tech 出品)

7月 ・名古屋オフィスを移転

8月 ・「CSR報告書2016」を発行

9月 ・「国際フロンティア産業メッセ2016」に出展(神戸国際展示場)
・難燃耐熱コンベヤベルト「FR7000シリーズ」を開発



難燃耐熱コンベヤベルト
「FR7000シリーズ」



伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」
(国際フロンティア産業メッセ2016 出品)

Ⅲ. 2017年3月期 業績予想

■ 2017年3月期 業績予想

(百万円、%)

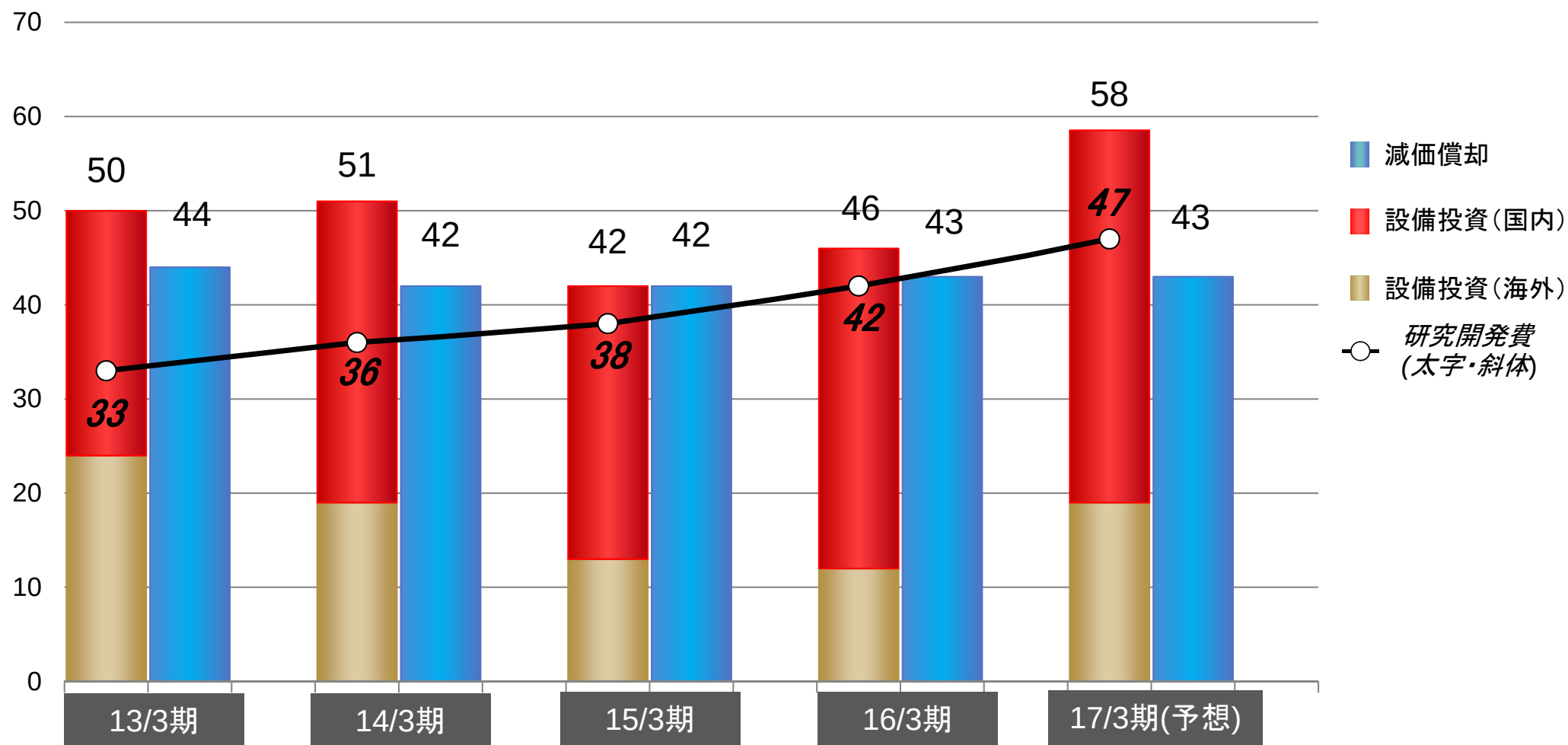
	2016/3 実績	2017/3 予想			
		修正前	修正後	前期比(修正後)	
売上高	93,272	94,000	90,000	△3,272	△3.5%
営業利益	5,960	6,000	5,500	△460	△7.7%
経常利益	6,363	6,400	5,600	△763	△12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,386	4,500	4,100	△286	△6.5%

為替レート	U S D	119.95円	110円	102円		
	E U R	132.25円	125円	113円		
	人民元	18.80円	17円	15円		

修正理由

- 前回公表した業績予想時の為替に対し円高影響を受けたほか、中国景気の減速継続により中国事業での拡販活動が影響を受けました。これらの影響を勘案した結果、通期の業績予想が前回公表した予想を下回る見込みであるため、業績予想の修正を行っております。

■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移

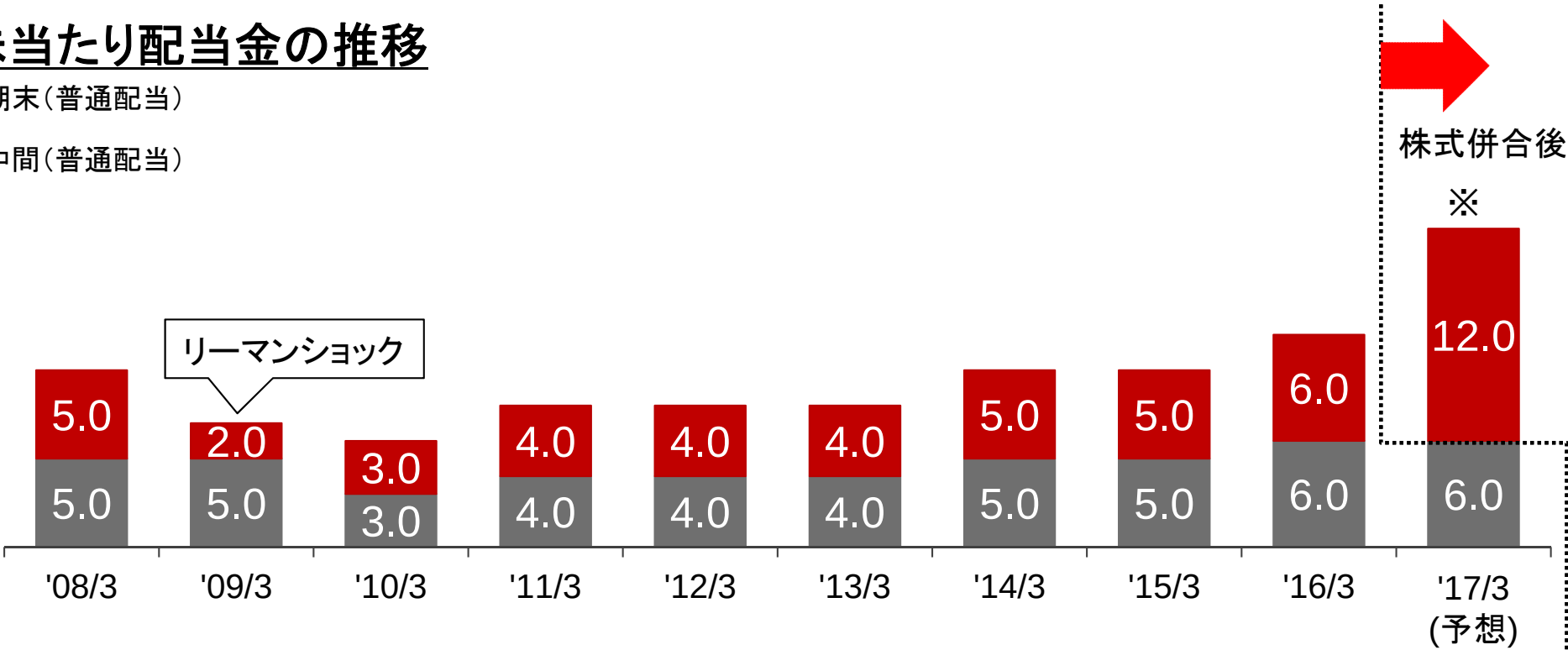


(単位:億円)

株主配当の推移

1株当たり配当金の推移

- 期末(普通配当)
- 中間(普通配当)



配当性向	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.7%	27.4%
------	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しております。

株式併合および単元株式数の変更(効力発生日:2016年10月1日)

- 株式併合 普通株式2株につき1株の割合で併合
- 単元株式数の変更..... 単元株式数を1,000株から100株に変更

IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

中長期経営計画“Breakthroughs for the future” 『未来への躍進』

目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

- 事業領域はベルトおよび機能製品分野、事業展開はグローバル
- キラリと光る付加価値製品の提供、キーワードは「環境・省エネ・高機能」
- ゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活用

Breakthroughs for the future 1st Stage(2013～2017年度)

- ・ 現事業の進化と深化
- ・ 研究開発と市場開拓の強化

Breakthroughs for the future 2nd Stage(2018～2022年度)

- ・ 10年後のありたい姿の実現
- ・ ベルトに次ぐ事業の確立

■ BF -1:5つの指針



BF-1 目標と進捗

BF-1目標
(2017年度)

売上高 1,000億円

営業利益 100億円
(売上高営業利益率 10.0%)



■ BF-1目標に対する進捗

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度予
売上高	857	934	953	932	900
営業利益	40	55	47	59	55
営業利益率	4.8%	5.9%	5.0%	6.4%	6.1%

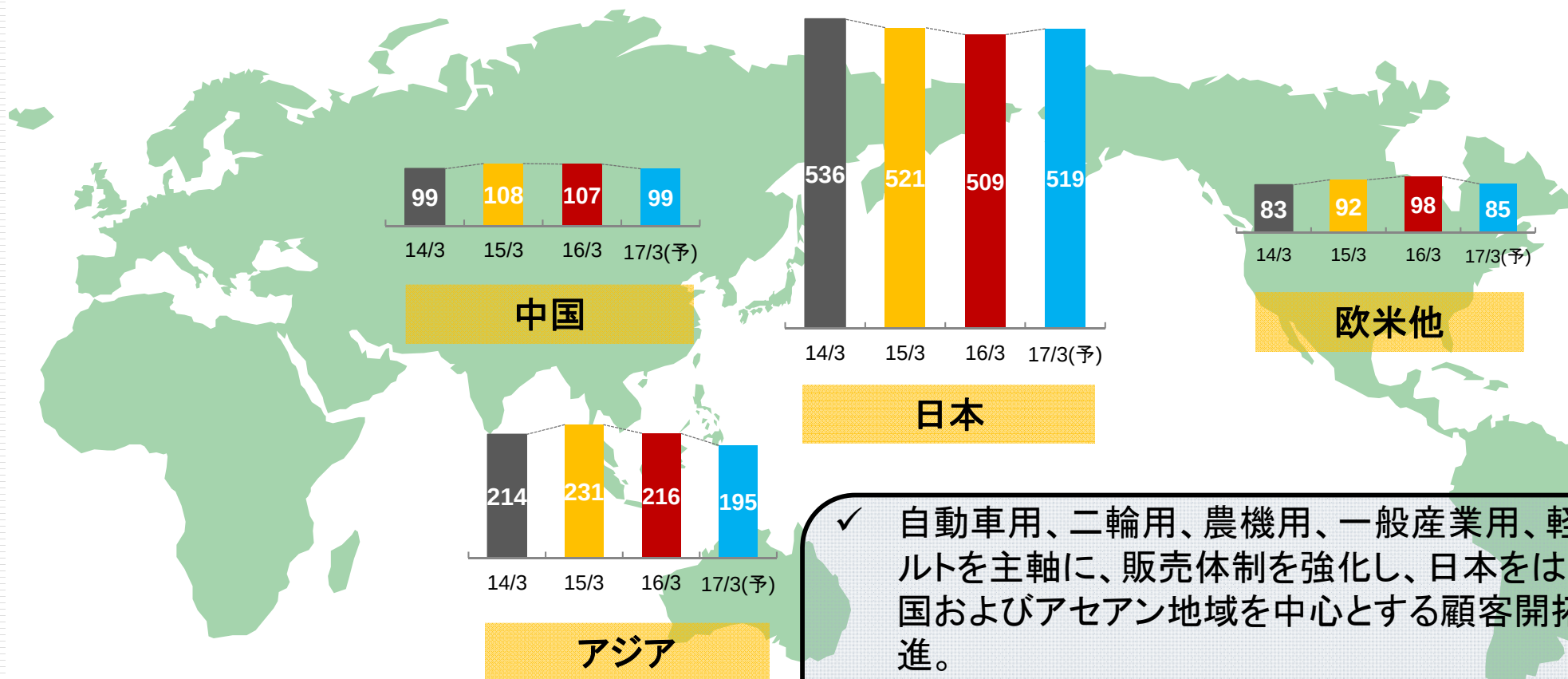
現状認識

- 目標達成に必要とされる項目は着手済。但し、その効果や進捗に項目ごとのバラツキが生じており、取組みの更なる強化が必要。
- 2016年以降の円高、新興国経済の減速が目標に対するマイナス要因。
- 目標達成に向け、加速必要な主な施策
 - ①為替など外部環境変化に対応した海外販売施策の加速
 - ②高付加価値製品の開発加速、販売拡大
 - ③革新製法投資、最適生産体制構築の進捗加速

BF-1の取組み①: グローバル市場戦略の進化

地域別競争優位方策を明確化、伝動ベルト分野でアジアNo.1を目指す

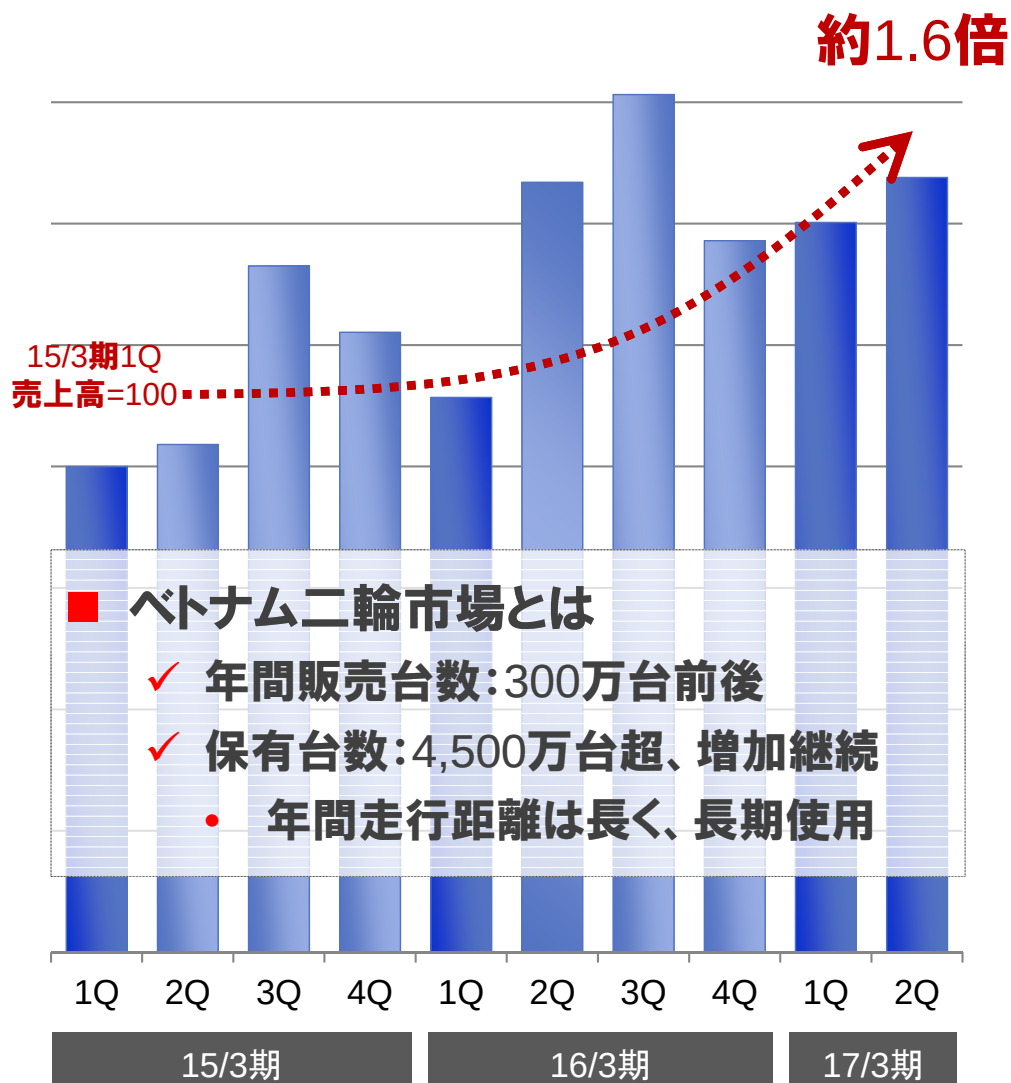
(単位: 億円)



- ✓ 自動車用、二輪用、農機用、一般産業用、軽搬送ベルトを主軸に、販売体制を強化し、日本をはじめ中国およびアセアン地域を中心とする顧客開拓を推進。
- ✓ インド、ベトナムにおいて、スクーター用変速ベルトの販売拡大。
- ✓ メキシコに販売会社を設立し、市場開拓を推進。

グローバル市場戦略の進化①: ベトナム (ASEAN)

二輪用ベルト販売高推移



当社の 強み

世界トップクラスの技術・ノウハウ
⇒顧客ニーズへの高い対応力

- スクーター用変速ベルト
⇒最終製品の商品性を左右する重要部品
- 新製品に要求される耐久性、速度変化への追従性等の多様なニーズに対応



ベトナム二輪用ベルト事業成長の要因

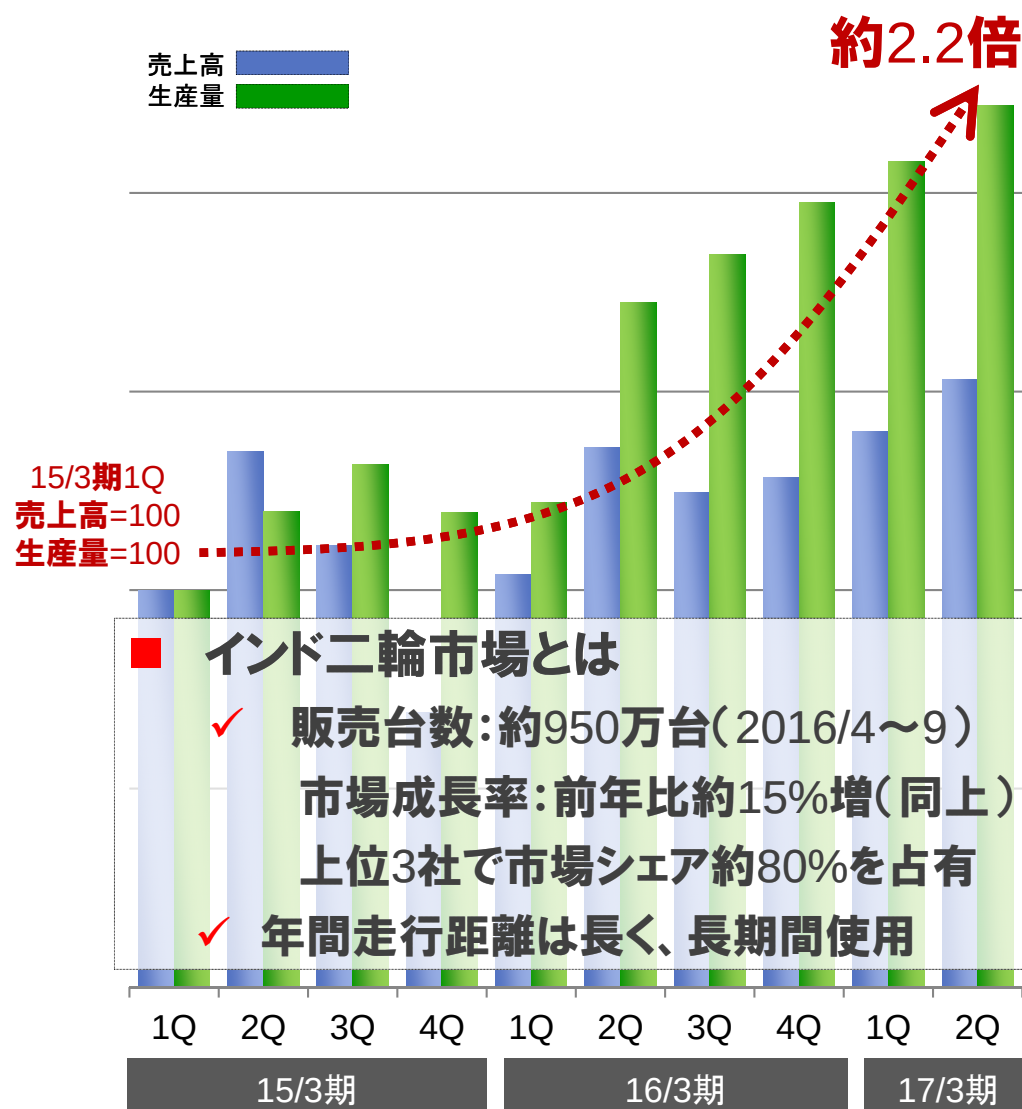
- 成長市場であること
- 主要顧客との親密・良好な関係
 - 現法設立により一層強固な関係を構築

今後の戦略・取組み

- 新工場の投資による生産力の強化
 - 内需に加え顧客の輸出用需要にも対応
- OEM対応に加え補修用市場の強化

グローバル市場戦略の進化②: インド

二輪用ベルト販売高・生産量推移



当社の
強み

世界トップクラスの技術・ノウハウ
⇒顧客ニーズへの高い対応力
(スクーター用変速ベルト)



インド二輪用ベルト事業成長の要因

- 事業中核が成長市場の高成長分野
 - ・ スクーター市場販売台数: 前年比25%増
- テクノロジーリーダーとの親密な関係
 - ・ 上位メーカーを含む幅広い取引に発展
- 現地生産の高い対応力

今後の戦略・取組み

- バンガロール工場のライン増設
(生産能力の増強)
- 補修用市場の積極開拓

市場ニーズにマッチした高機能製品の開発、付加価値の向上

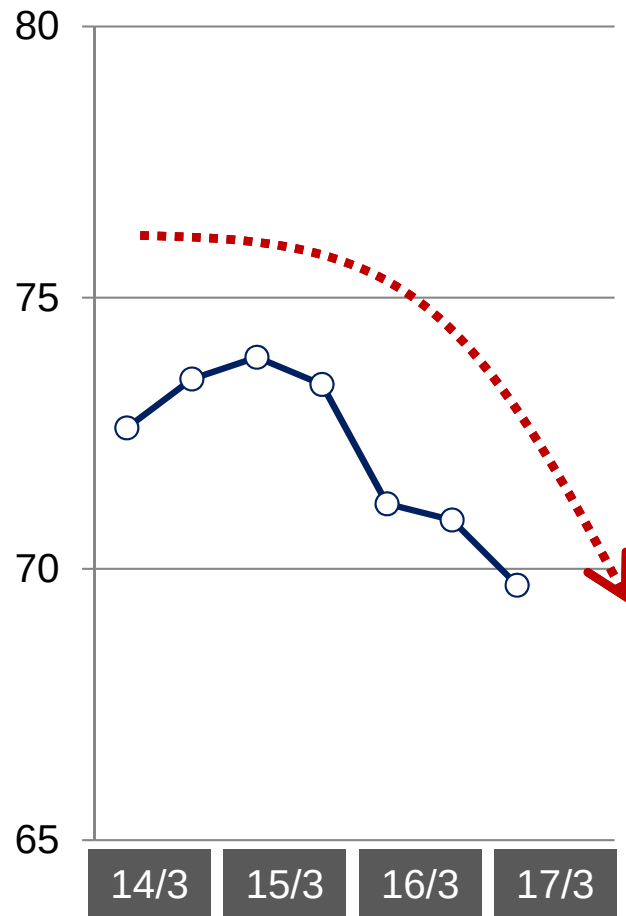
事業	製品	経緯・開発状況
産業資材事業	「バンドーワイパーエッジ®EX(イーエックス)」 - 工作機械摺動部用シールブレード - 切削作業中に飛び散る潤滑油や切粉から動作部(モーター)を保護 - 工作機械の安定した稼働と加工品質を支える部材  切粉避けカバー 高弾性ウレタンゴム	- 世界初の特殊ウレタン製「工作機械摺動部用のシールブレード」 - 使用クーラント(潤滑剤)が多様化するなか、水溶性クーラントへの耐性に優れる 耐摩耗性も格段に上昇、長寿命化を実現 - 工作機械メーカー・ユーザーにアプローチ中
高機能エラストマー製品事業	「加飾フィルム」 プラスチック成形品(一次成型)の弱点とされる意匠性・質感を向上させた高級感や重厚感等に優れた装飾フィルム 	- 当社保有のフィルム製膜技術とコーティングや粘着などのフィルム複合技術を融合 - エンボス、グロス、マット等の意匠・質感に加え、耐擦傷性等の機能性を向上 - 二輪車メーカー(アクセサリ等)、四輪車メーカー(内装)をターゲットに提案活動を展開中

BF-1の取組み③:ものづくりの進化

売上原価率70%未満(目標)を中計4年目で達成見込み

✓ 継続的なコストダウン・原材料安効果の取り込み

■ 売上原価率(%)の低減



革新製法の
開発・確立

当期実施

- ・ コンベヤベルト生産ライン刷新(不良ロス軽減、省人化)
- ・ ウレタンベルト新製法開発(生産性向上)

今後の施策

- ・ 主要ベルト製品での新製法開発、自動化の推進

開発購買の
推進

当期実施

- ・ 一部製品において材料切替を実施

今後の施策

- ・ 国内外の材料探索の継続
- ・ 製品開発、世界最適生産体制構築との連携

世界最適生産
体制の構築

当期実施

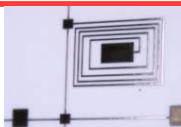
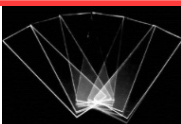
- ・ 事業部・製品別の世界最適生産構想案作成
- ・ 一部品目の生産移管を開始

今後の施策

- ・ 2017年以降生産移管実施に向けての準備

BF-1の取組み④:新事業の創出

次世代の柱となりうる新事業の育成

ターゲット領域	製品/開発製品		研究	製品開発/顧客評価	量産
オプト エレクトロニクス	放熱シート (電子デバイス用)		サンプル品の販売、量産に向けた改良開発取組中		
	金属ナノ粒子ペースト 「FlowMetal®」		数社の評価完了、量産に向けて精製工程着手		
	光学用透明粘着剤 「FreeCrystal®」		2016年度量産に向けての最終段階別用途の市場開発活動も拡大		
自動車/交通	輸送貨物の 固縛ベルト用張力計		物流会社山九株式会社と共同開発中 (2016年度より販売開始見込)		
ロボット	産業用ロボットデバイス 「QUICK-CHANGE GIGA」		2015年度より販売開始		
健康/福祉/医療	伸縮性ひずみセンサ 「C-STRETCH®」		福祉機器分野向けに対して、 2016年度中に販売開始見込		

“Breakthroughs for the future”

『未来への躍進』

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。